



5月になりました。一息ついたゴールデンウィークも終わり、元気いっぱい学校が再開しました。二者面談が始まっています。短い時間ですが、子どもについて、学校と家庭で共育していけるように情報交換できればと思います。(共育は、子どもの成長のために学校と家庭が一緒になって教育していきましょうという造語です)

5月6日の全校朝礼では、「あいさつ」について話をしました。あいさつにはそれぞれ成り立ちがあります。朝のあいさつ「おはよう」は、歌舞伎の役者さんが自分たちの舞台のために朝早くから準備をしてくれる裏方さんに対して「朝早くからご苦労様、ありがとう」という思いから「お早う」となったそうです。もともとは相手への感謝の意味があったのです。昼のあいさつ「こんにちは」は漢字書くと「今日は」。この後に「ご機嫌いかがですか？」が続きます。「こんにちは」には、相手を思いやる気遣いが隠されています。そして、お別れのあいさつ「さようなら」。漢字で書くと「左様なら」です。もともとは「左様ならば」で、今の言葉だと「そうであるならば」です。前後には、言葉が隠されていて、「今日もよい日でしたね。」「そうであるならば(左様ならば)」「また会いましょう。」となるそうです。「さようなら」は別れの言葉ではなくて、「また会いましょうね」という約束だったのです。

あいさつの言葉は、相手への気遣いであふれています。だから、相手に伝えることが大切です。朝、あいさつをしてくれる子がたくさんいます。気持ちよい1日が始まります。自分から先にあいさつできるとさらによいですね。



受け継がれていく大切な活動 ～たてわり活動～

4月28日(金)に1回目のたてわり活動を行いました。たてわり活動は、1年生から6年生が30人程度のグループになって活動します。活動の内容は、リーダーである6年生が考え、当日も進めていきます。先生も担当として一緒にいますが、見守るだけで、子どもたちが主体的に活動します。

この日は、1回目なので、「アヒル」「たいやき」「ハム太郎」「ペヤング」・・・思い思いのグループ名の書かれたプラカードを持って、6年生が1年生の教室に迎えに行きました。グループで集まったら、まず、一人一人の自校紹介をしました。1年生もしっかりできました。その後、6年生がリーダーとなり、クイズやゲームなどの活動を行いました。次回からも、6年生が考えた遊びを校庭や体育館で行っていきます。1年生から6年生が1つのグループなので、すべての子が楽しめる遊びでなくてはなりません。そのため、ルールを考えるのも一苦労です。今の6年生も、これまでは上級生の考えた遊びで楽しんできました。今度は、自分が考える番です。上級生から下級生に受け継がれていく大切な活動です。



たくさんの先生がかかわりながら ～教科担任制～

玉小では、教科担任制を進めています。これまで小学校では、担任が学級の授業を受け持つ学級担任制が主流でした。しかし、全国的な流れとして、特に高学年においては、教科担任制が進められています。教科担任制では教科によって教える先生がかわります。中学校のように全ての教科で実施できるわけではないのですが、学年があがるごとに教科で先生がかわることも多くなります。音楽や英語、理科のように、専科の先生がいる場合もありますし、学年の先生で交換して得意な教科を教える場合もあります。玉小では全学年で、教科担任制を実施しています。学年によって異なりますが、外国語(英語)、音楽、理科、国語(書写)、社会、図工、家庭、体育など、様々な教科で実施しています。また、あゆみ学級でも担任以外の先生が教えることもあります。



教科担任制はいくつかのメリットがあります。

1つ目は、専門的な知識や技能をもった先生が指導することによって、授業の質があがることです。小学校の先生は全ての教科を教えなくてはなりません。先生にも得意な教科もあれば、そうでない教科もあります。先生にとっても、得意な教科を教える方が授業を工夫する余裕が出てくると思います。子どもにとっても大きなメリットです。

2つ目は、複数の目で子どもを見ることができることです。たくさんの先生が授業を通して、子ども一人一人とかわかることで、子どものちょっとした異変やサインに気づくことができます。また、いろいろな先生とかわかることで、その子にとって、話しやすい先生、相談しやすい先生が見つかるかもしれません。玉小では、全ての先生で全ての子どもを育てることを目指しています。このことから、たくさんの先生が子どもとかわかれる教科担任制にはメリットがあります。

3つ目は、教科担任制で一人の先生の教える教科が減ることで、授業の準備の時間も減ることです。先生の多忙化は大きな問題になっており、玉小の先生も遅くまで残って次の日の準備をしています。子どもの前に先生が元気に立つことが一番だと思います。また、同じ内容の授業を複数のクラスで行うことで、授業の質も高まっていきます。



中学校に進むと、小学校との違いで戸惑ってしまう「中1ギャップ」も課題となっています。教科担任制に慣れておくことも、ギャップを和らげる上で大事なこともかもしれません。

とはいえ、学級担任やクラスメイトとの信頼関係が全ての授業の土台であることは言うまでもありません。今年度も、温かい学級づくりと学力の向上を進めていきたいと思っています。

<お知らせ>

すでに5年生には通知してありますが、7月に予定されていた臨海学校が新型コロナウイルスの感染防止策が徹底できないという理由で中止となっていました。その他の学年の旅行的行事については、現段階では実施する方向で進めていきます。なお、5年生については代替の行事を計画していきます。

玉小のホームページには、学校紹介のほか、予定表や学校通信、毎日の学校の様子をアップしている「学校日記」があります。タイムリーに掲載していきますので、是非ご覧下さい。保健関係のダウンロード資料等も載っています。

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

